

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてください。

<http://www.tepco.co.jp/kk-np/data/inside/pdf/image1.pdf>

2015年10月2日に不適合管理委員会で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、不適合管理委員会で確認した事象の内容から、審議時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 6件

NO.	号機等	不適合事象	備考
1	1号機	水処理建屋において、圧力調整用消火ポンプ(B)吐出逆止弁および最小流量逆止弁の点検時、弁蓋に減肉を確認した。当該弁を修理。	
2	4号機	濃縮廃液タンク(A)室内漏えい検出器の部品が脱落していることを確認した。当該検出器を点検・修理。	
3	5号機	高電導度廃液系収集タンク水素イオン濃度計(A)の点検時、校正ができないことを確認した。当該計器を修理。	
4	5号機	タービン補機冷却海水系ストレーナ(B)差圧検出元弁にシートパスを確認した。当該弁を点検・修理。	
5	6号機	高電導度廃液系濃縮装置復水器の原子炉補機冷却水系出口弁が全閉まで閉まらないことを確認した。当該弁を点検・修理。	
6	その他	荒浜側焼却設備において、焼却炉底蓋シール空気減圧弁から微量の空気漏れを確認した。当該弁を点検・修理。	